

あしっ 育成だより 12

立教 182 年 10 月 23 日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部

特集 ①おちばで学ぶ有り難さ ②自教会でできる活動を

《親のことば》

育てる側も育つ努力を

皆さんは、どちらかといえば、後継者講習会とか、そういう講習会の受講者ではなく、それを運営する、あるいはそちらへ人を送り出す立場、また、受講した人をいっそう育てていく立場であります。いわば育てる側の立場であります。

しかし、育てる側も、教え子であるということを考えたならば、育てる側も育たなければなりません。日々さまざまな御用をつとめるなかで見せられる姿のなかに思召を悟って、をやの御心にかなうような人に、一步でも二歩でも成人する努力を払っていくことが大切だと思うのであります。

(立教 180 年「年頭ご挨拶」における真柱様お言葉より)



おぢばでこそ学べること

人材育成の重要性が強調されていますが、親里にはお道の人材育成につながる学校がいくつもあります。

今号では、おぢばの学校を卒業・修了した方の声を頼りに、おぢばで学ぶことの意味、教祖のお膝元で育てていただく有り難さについて、考えてみたいと思います。

現在、おぢばには天理小学校、中学校、高等学校（1部・2部）、天理教校学園高校、天理大学、天理医療大学をはじめとした学校と、天理教校（専修科、本科実践課程、本科研究課程）などがあります。

●朝の学校参拝

他の学校と大きく違うところは「朝の学校参拝」があること。小学校から高校まで、毎朝、すべての児童・生徒・教職員がそろって教会本部の神殿で参拝してから、それぞれの学校に向かいます。朝の参拝は、親神様に感謝の祈りを捧げ、今日も元気に過ごせるようお願いをするための、一人ひとりが神様と向き合う大切な時間です。



毎朝の学校参拝の様子

おぢばの学校は、すべて「天理教教義に基づいた信条教育」を基本としており、小学校、中学校、高校では、教義やおてふりの授業があります。

「天理小学校では、教義の授業だけでなく、音

楽の授業でよろづよ八首を暗唱したり、おてふり教室でてをどりを学んだり、日常的にひのきしんがあったり、毎朝の参拝などもそうですが、今思えば、知らず知らずのうちにお道の教えや行動を身につけさせてもらいました」（天理小学校OB）

●おぢばでの寮生活

高校になると、学校生活だけでなく、寮生活で得るものも多くなります。

天理高校1部生の約半数、2部生と教校学園生は全員が、親元を離れ寮生活を送っています。寮生活では、親の有り難さを実感できるだけでなく、団体生活によって「慎み」や「たすけあい」を身につけ、さらに幹事さんたちの信仰的な態度や言葉に感化を受け、「将来のようぼく」として、かけがえのない体験ができます。

「親元を離れて、一人で何もしなければならぬ環境になって、どうしようと思いましたが、そこで初めて親の優しさや家族の存在の大きさを知りました。多くの支えの上に、私は生かされていると気づきました。

卒業したら、少しでもそのご恩返しができたと思っています」（天理高校2部生）

「寮生活で私が得たものは、全国各地のいろいろな教会の仲間ができたことです。3年間、寮で寝食を共にして、本当に信じ合えるお道の仲間ができたことは、今、自分にとって大きなプラスになっています」（教校学園高校OB）



天理高校2部生が おさづけの理を拝戴

●ようぼくの一員となって

10月1日、天理高校2部の4年生5名が、おさづけの理を拝戴し、ようぼくの仲間入りをしました。

管内高校では、17歳になると別席を運び、在学中に満席を迎えます。現在は、おさづけの理拝戴は限られた日数、人数でのお運びですが、ようぼくとなって卒業を迎える学生もいます。

すべての管内学校は、明治33年（1900年）の天理教校設立に、そのルーツがあります。中山真之亮初代真柱様は、天理教校の開校にあたり、その目的を「信心堅固にして而かも学識徳行兼備せる教師を養成」するところにある、と述べられています。この場合の「教師」とは、天理教教師＝ようぼくのこと。お道の信仰を養ったその上に、豊かな教養、高い見識を兼ね備えたようぼく養成にこそ、おちばの学校の理念があります。

●神様の御用ひとすじに

その中で、天理教校は専修科、本科実践課程、本科研究課程があります。おやさとかたの東棟にあり、天理教の教えを深く、専門的に学び、さらに実践する学校です。

天理教校では、道を積極的に求める「求道」の精神が求められます。そのため、座学だけでなく、多くの親里のひのきしんに従事します。志願する者は教会長子弟が大半ですが、教えを学ぶと同時に、身を以て実践することで、教えが身に付き、

心に治まっていきます。

「専修科で、自分が一番良かったと思えることは、お道の悩みを相談できる友達ができたことです。

高校時代は、お道の知識はほとんどないし、教会のことなどは、友達に相談できませんでした。専修科では、皆同じような立場なので、いろいろと相談もできたし、その中で教会によっていろいろな考え方ややり方があって、本当に勉強になりました」（専修科OB）

●教会の御用に役立つ人に

また天理教校では、教会実修として、2～3人ずつに分かれ、地方の教会で青年・女子青年勤めを体験します。自教会以外でのにをいがけ、おたすけ、月次祭などの実体験で、さまざまな気づきを得ることができます。



おとまり会の手伝いをする本科生
（於・紀周分教会）

「部内教会や布教所の月次祭に参拝させていただいても、皆さん、どこへ行っても心地よく、愛情をもって接してくださいました。会長さん、奥さん、ようぼく、信者、先人の方々の丹精を感じずにはいられませんでした。

将来、教会を任されることになれば、誰が来ても居心地のいい教会になれるよう、人々の和楽を深め、互いにたすけあい、心の成人ができる《陽気ぐらしの雛型》となる教会を目指したいと思います」（本科実践課程生）

自分のことから始めよう

教会長子弟育成プロジェクトが始まって3年目。各教会での育成体制の構築を目指し、さまざまな取り組みが始まっています。その中でクローズアップされているのは、これまでにある育成活動・行事をうまく活用すること。婦人会・青年会・少年会・学生会と連携し、会活動や教会行事を連携させながら、人を導き、育てていく。

今号は、すでに動きを始めている教会の活動を紹介しますので、ぜひとも参考にしてください。

教会おとまり会



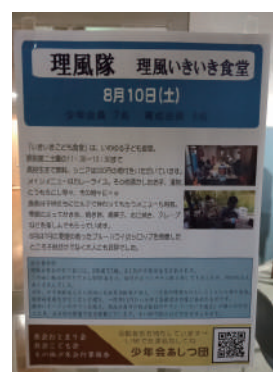
少年会が推奨している「教会おとまり会」。ゲームや楽しい行事をしなくても、一緒に食事をし、おつとめを勤め、ひのきしんをし、教会で寝泊りをするだけでもいいのです。おとまり会は、こどもおちばかえり参加にもつながっていきます。

ファミリーおつとめの集い



大教会が推進している「ファミリーおつとめの集い」は、家族がみんな揃っておつとめをすることが目的です。普段、月次祭のおつとめに出ることのできない子供たちが、教会のおつとめに出ることで、おつとめの大切さを伝えます。

少年会芦津団は、こうした育成行事開催のポスターを、大教会・詰所に掲示しています。ぜひともご覧いただき、各教会での実施にお役立てください。



こども食堂



近年、共働き家庭や、一人親の家庭、祖父母家庭などが多くなっています。そんな中、教会の近くに住む子供たちを対象に「こども食堂」を運営する教会が増えています。その中には、行政と相談、協力しながら、地域の方々に喜ばれている教会もあります。

教会こども会



「教会おとまり会」よりも、実施しやすいのが「教会こども会」。お風呂や寝泊りする場所がない、食事の準備の手がない、といった悩みがある教会は、まず子供を教会に連れてくるところから始めています。その中で、少しずつ神様の教えを伝えていくのです。

少年会員がまなびの鳴物を



9月1日より、大教会では、毎週日曜日の朝・夕のまなびの鳴物を、少年会員が勤めています。これは、各教会での子弟育成の動きに合わせ、まずは大教会からその機運を高めようと、内勤者や近隣ようぼくの子弟たちが鳴物を学び、家族揃って大教会に参拝することを促すものです。

「親子で上級教会に参拝することは、縦の伝道の大切な角目です。まなびの鳴物に出ることを一つのきっかけとして、月に1度でも大教会や上級教会に、親子揃って参拝する機会を作っていただきたいと思います」（山田道弘・育成部長）

学生生徒修養会 参加者・スタッフについて

毎年、親里で開催される「学生生徒修養会」。夏は高校の部、春は大学の部・高校卒業生コースがあり、全国各地から集まったお道の仲間と、かけがえのない時間を過ごします。

芦津大教会では、教会長子弟には、在学中に1度は「学修」にご参加いただき、お道の仲間とおぢばで学ぶ機会を作っていただきたいと思います。

また、学修を経験した方には、学修を支えるスタッフをお務めいただきたいと思います。

※スタッフ希望の方、詳細は大教会育成部・奥田までお尋ねください



11月25日(月)

育成部

管内学生親睦会・保護者交流会

- 日時 11月25日 午後6時より(約2時間)
- 場所 芦津詰所 5階会議室
- 対象 おぢばの管内学校に通う学生と、その保護者
※学校やクラブの都合上、学生が参加できない場合、保護者だけでもご参加ください
- 内容 会食(交流会)

学用品リユースのお願い

天理高校・教校学園高校を卒業された方で、制服や学校指定のかばんなど、今後使う予定のない物がございましたら、進学を希望される学生に利用させていただきますので、お譲りいただきたいと思います。できるだけきれいな状態で、詰所事務所までお届けくださいますよう、よろしくお願いします。

詰所主任



12月1日(日)

学生会

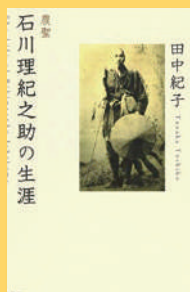
第1回芦津学生会総会

- 日時 12月1日 午前10時開会
(受付開始 午前9時より)
- 場所 芦津大教会
- 内容 おつとめ、式典、アトラクション
- 持ち物 ハッピー



人を育てる「座右の書」

人を導くために参考となる書籍を紹介します



- 農聖 石川理紀之助の生涯／田中紀子 著
- 批評社 ●1,785円(税抜)

「寝ていて人を起こすことなかれ」とは、「秋田の二宮尊徳」と呼ばれた石川理紀之助氏が遺した最も有名な言葉。

「自分は動かないで人にやらせてはいけない」。夜明け前に誰よりも早起きし、板を鳴らして村人を起こし、共に汗を流して仕事に励み、その姿を通して村人を導いた石川理紀之助。まさに率先垂範、まずは自らが動くという姿勢と、自分が何とかしなければ、という強い決意が込められた言葉です。

①おぢばで学ぶ有り難さ ②自教会でできる活動を

あしっ 育成だより 12

立教182年10月23日発行
編集/天理教芦津大教会育成部